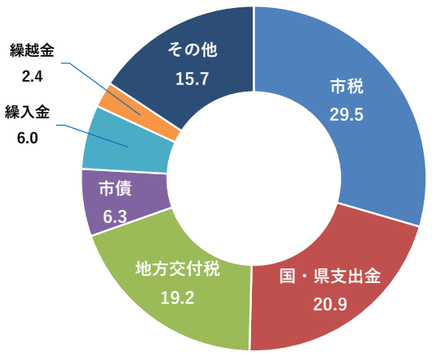
資料４

令和７年度　館山市決算概要

【 館山市情報提供 】
令和８年８月２８日　　総務企画部 行革財政課
担当者：鈴木　　連絡先：0470-22-3291

一般会計 歳入　242億981万5千円

歳入（構成比）　単位：％



歳入内訳

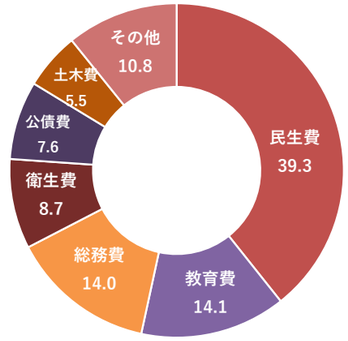
市税	7,150,360	千円	（構成比	29.5	％，対前年度比較	1,208,865	千円）
国・県支出金	5,059,411	千円	（構成比	20.9	％，対前年度比較	△ 1,120,404	千円）
地方交付税	4,642,927	千円	（構成比	19.2	％，対前年度比較	△ 429,048	千円）
市債	1,518,100	千円	（構成比	6.3	％，対前年度比較	△ 1,492,700	千円）
繰入金	1,446,380	千円	（構成比	6.0	％，対前年度比較	△ 248,483	千円）
繰越金	581,803	千円	（構成比	2.4	％，対前年度比較	112,116	千円）
その他	3,810,834	千円	（構成比	15.7	％，対前年度比較	△ 18,158	千円）
合計	24,209,815	千円	（構成比	100.0	％，対前年度比較	△ 1,987,812	千円）

【 主な増減理由 】
○ 市税　（個人市民税の増）
○ 国県支出金　（防衛施設周辺防音事業補助金の減）
○ 地方交付税　（普通交付税の減）
○ 市債　（館山中学校整備事業費減少による減）
○ 繰越金　（繰越金の増）

※「決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」Ｐ１、４～６、Ｐ８参照

一般会計 歳出　232億2,098万7千円

歳出（目的別構成比）　単位：％



歳出内訳

（目的別）

民生費	9,125,573	千円	（構成比	39.3	％，対前年度比較	△ 84,223	千円）
教育費	3,264,035	千円	（構成比	14.1	％，対前年度比較	△ 1,980,368	千円）
総務費	3,244,025	千円	（構成比	14.0	％，対前年度比較	693,147	千円）
衛生費	2,025,239	千円	（構成比	8.7	％，対前年度比較	△ 61,764	千円）
公債費	1,759,440	千円	（構成比	7.6	％，対前年度比較	21,755	千円）
土木費	1,278,081	千円	（構成比	5.5	％，対前年度比較	△ 256,611	千円）
その他	2,524,594	千円	（構成比	10.8	％，対前年度比較	△ 216,773	千円）
合計	23,220,987	千円	（構成比	100.0	％，対前年度比較	△ 1,884,837	千円）

（性質別）

扶助費	5,076,055	千円	（構成比	21.9	％，対前年度比較	183,370	千円）
人件費	4,156,452	千円	（構成比	17.9	％，対前年度比較	129,731	千円）
物件費	3,075,877	千円	（構成比	13.2	％，対前年度比較	△ 123,181	千円）
補助費	2,855,480	千円	（構成比	12.3	％，対前年度比較	△ 76,704	千円）
投資的経費	2,436,445	千円	（構成比	10.5	％，対前年度比較	△ 2,772,848	千円）
公債費	1,759,440	千円	（構成比	7.6	％，対前年度比較	21,755	千円）
積立金	1,166,375	千円	（構成比	5.0	％，対前年度比較	656,454	千円）
その他	2,694,863	千円	（構成比	11.6	％，対前年度比較	96,586	千円）
合計	23,220,987	千円	（構成比	100.0	％，対前年度比較	△ 1,884,837	千円）

【 主な増減理由 】
（目的別）
○ 民生費　（認定こども園整備事業費の減）
○ 教育費　（館山中学校整備費の減）
○ 総務費　（減債基金積立金の増）
○ 衛生費　（予防接種委託料の減）
○ 土木費　（道路新設改良工事費、船形館山線道路整備事業費の減）

（性質別）
○ 扶助費　（障害介護給付費、児童手当費、施設型給付費負担金の増）
○ 人件費　（職員給料の改定、地域手当の支給による増）
○ 物件費　（標準準拠システムへの移行完了によるシステム改修委託料の減、予防接種委託料の減）
○ 補助費　（下水道事業会計補助金の減）
○ 投資的経費　（館山中学校整備事業費の減）
○ 積立金　（減債基金積立金の増）

※「決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」Ｐ２、７、９～１０参照

特別会計

（単位：千円）

会計名	歳入決算額	歳出決算額	形式収支
国民健康保険	5,784,073	5,597,445	186,628
後期高齢者医療	995,388	993,314	2,074
介護保険	6,903,751	6,532,240	371,511

下水道事業会計

（単位：千円）

区分	収入	支出	差引収支
収益的収入及び支出	573,197	516,645	56,552
資本的収入及び支出	299,157	464,566	△ 165,409

一般会計

1　決算規模及び実質収支

（単位：千円）

区分	令和７年度 A	令和６年度 B	比較（A-B） C	増減率(%) C／B
歳入総額（①）	24,209,815	26,197,627	△ 1,987,812	△ 7.6
歳出総額（②）	23,220,987	25,105,824	△ 1,884,837	△ 7.5
形式収支（①－②＝③）	988,828	1,091,803	△ 102,975	△ 9.4
翌年度への繰越財源（④）	60,971	72,176	△ 11,205	△ 15.5
実質収支（③－④）	927,857	1,019,627	△ 91,770	△ 9.0

2　市債　残高

令和７年度末 市債残高 227億3,056万円（前年度比　△9,929万円　△0.4％）
○館山中学校整備事業費減少による減

3　基金　現在高

令和７年度末 基金現在高　53億7,928万6千円（前年度比 +2億9,166万7千円 +5.7％）
うち、財政調整基金現在高 15億9,877万9千円（前年度比 △1億298万9千円 △6.0％）
○市税増収分を減債基金に積立したことによる増

※「決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」Ｐ１３～１４参照

財政調整基金保有額推移

（単位：億円）

区分	令和５年度	令和６年度	令和７年度	令和８年度見込
財政調整基金残高（保有額）	21.9	17.0	16.0	13.5
増減等	-	△ 4.9	△ 1.0	△ 2.5

※令和８年度見込は、執行状況を踏まえた過去の実績（減額補正）による予測値です。

各種財政指標

（単位：％）

各種指標	令和７年度	令和６年度	増減	早期健全化基準
経常収支比率（財政運営の弾力性）	95.3	97.4	△ 2.1	
健全化判断比率 実質赤字比率（普通会計の赤字比率）	－	－		13.02
健全化判断比率 連結実質赤字比率（全会計の赤字比率）	－	－		18.02
健全化判断比率 実質公債費比率（資金繰りの危険度を表す）	6.5	7.1	△ 0.6	25.0
健全化判断比率 将来負担比率（将来の財政運営の危険度を表す）	61.8	70.7	△ 8.9	350.0

※ 各種指標は現在国・県において内容確認中であり、確定数値ではありません。
※「決算に係る主要な施策の成果に関する報告書」Ｐ１２参照